



● 2016年 第52回大会のお知らせ

2016年度 第52回大会を10月22日(土)、23日(日)の両日に渡り、東海大学(高輪キャンパス)において開催します。今年は復活祭蜂起100周年に当たります。現在からイェイツの生きた時代を考え、あらためてイェイツの作品を検討したいと考えています。

10月22日(土)、谷川冬二氏(甲南女子大学)が今年3月の記念式典に参加。「復活祭蜂起100周年とメモレションの作法」と題し、最新の情報と現地での体験を織り交ぜ、「復活祭蜂起」が現在のアイルランドでどのように受け取られているのかを報告、さらに“Easter 1916”を検討する予定です。

同日のシンポジウム「イェイツと復活祭蜂起」では、司会・講師を岩田美喜氏(東北大学)が担当、岩田氏の他、講師に長谷川弘基氏(神戸学院大学)、伊達恵理氏(明治大学)を迎え、イェイツが復活祭蜂起とどのように向き合ったか、「クープリンの死の表象」、「詩人としての責任」、作品のリフレインに表現された「美」といった観点から復活祭蜂起が表象するもの、イェイツの生涯に及ぼした影響などを検討する予定。フロアとの活発な意見交換を行いながら、他の作品に及ぼす影響を含め、イェイツ研究の新しい展開を模索する斬新なシンポジウムが期待されます。

2日目の10月23日(日)のワークショップでは、奥田良二氏(東海大学)を司会・講師とし“Easter 1916”を読む」と題し、作品構成、*Cathleen ni Houlihan* との比較、ジェンダーの観点から、イェイツの創作意図を検討する予定。奥田氏の他、池田寛子氏(京都大学)、石川隆士氏(琉球大学)が講師となり、新しい読みの提示を試みたいという意欲的なワークショップです。

大会両日の研究発表は、佐藤容子氏(東京農工大学)「イェイツの奇跡劇—『復活』の舞台表象について」原田美知子氏(桜美林大学)「1927年とイェイツ」、山内正太郎氏(学習院大学院生)「イェイツ、日本へ?—果たされなかったイェイツ来日、そして「お雇い

外国人」の問題について」、中村麻衣子氏(首都大学東京)「欲望のかたち—イェイツの恋愛詩を読み直す」、伊里松俊氏(愛知県立大学名誉教授)「イェイツとワーズワスにみるロマン派想像力」を予定しています。各発表者の視点からの多角的であらたなイェイツ研究の展開が期待されます。

復活祭蜂起100周年に当たりますが、1世紀を経た現在においても、「復活祭蜂起」はイェイツ研究や作品解釈に影響を及ぼし、イェイツ理解の核のひとつと考えられます。皆様のご参加をお待ちしております。詳細につきましては、同封のプログラムと要旨集をご覧ください。

● 日本・アイルランド国交樹立60周年記念に際しての図書寄贈のお願い

1957年に日本とアイルランドが国交を樹立し、来年2017年は国交樹立60周年を迎えます。日本とアイルランド両国は、それを記念し様々な記念行事を計画しており、そのひとつとして、会長宛ての文書にて駐愛日本大使と駐日アイルランド大使の連名で、日本で出版されたアイルランド文学作品の翻訳をダブリン市立図書館に寄贈してほしいという依頼がありました。日本アイルランド協会、IASIL-Japanにも同様の依頼があったとのこと。

当協会の委員会で検討し、協会としてできる限り他の団体と連携しながら、協力してゆくという結論に到りました。

寄贈可能な翻訳書物のリストを作成し、9月末頃までに完成したいと考えています。同封したリスト表に必要事項(作品名=英語・日本語、作者名、翻訳者名、頁数、出版社、出版年、入手可・不可)を記入いただき、9月末日までに事務局に郵送もしくはメールでお知らせください。会員の皆様のご協力をいただければ幸いです。詳細につきましては、同封別紙をご覧ください。

● 委員改選について

本年度は委員改選の年に当たりますので、投票のご協力をお願い申し上げます。同封の被選挙人名簿から10人を選び、名簿の右側の空欄に○印を記入してください。その用紙を、同封された切手添付の封筒に入れ、9月24日までに投函（9月24日消印有効）してください。10名以上選んだ場合は、無効となりますのでご注意ください。

● 寄贈図書

『持続するエピファニー』（浅井雅志著 松柏社 2016年3月、3800円＋税）

『エリザベス・ボウエンを読む』（エリザベス・ボウエン研究会編 音羽書房鶴見書店 2016年8月、4,200円＋税）

ご寄贈くださりまことにありがとうございます。著者の方々には心より御礼申し上げます。

● 訃報

4月8日に早稲田大学名誉教授の鈴木弘氏がご逝去されました。日本イエイツ協会設立当初から委員、ならびに会長職（1997～2000年）を務められ、当協会の発展に尽力をしてくださいました。ここにあらためて生前のご尽力とご活躍を偲び、心から哀悼の念を捧げたいと存じます。

【追悼】鈴木弘先生は会長在職中、大会だけでなく、私たち会員のために定期的に研究会を開いてくださっていました。早稲田大学で行われ、イエイツの詩や劇を出席者で読み、鈴木先生からコメントをいただき、私たちはイエイツについて多くのことを学ぶことができました。先生の独特の解釈やお考え、そして何よりもその passion は、今も鮮明に私の心の中にあり、イエイツの詩を読むとはどういうことなのかをあらためて考えるきっかけになったことを覚えております。鈴木先生は、『W・B・イエイツ全詩集』、『ヴィジョン』、『善悪の観念』等の翻訳書や、『図説イエイツ詩辞典』等の編著書をはじめ、優れた論考を数多く著されており、イエイツ研究にはかり知れない貢献をされました。先生の長年にわたる協会へのご尽力を感謝しますとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

会長 奥田良二

● 会費納入のお願いと口座について

日本イエイツ協会は、会員の皆様の会費で運営されています。会費未納の方は、以下の口座にお振込みくださいようお願い申し上げます。（2013年以降会費納入が確認されない場合、協会からの発送物をお届けできない可能性がありますのでご注意ください。）

2016年4月より、会費納入口座が新しくなりましたので、お間違えないよう、お願い申し上げます。

会費 5,000円 学生会員 2,000円

<ゆうちょ銀行>

* 「ゆうちょ」から振込みする場合

総合口座

（送金先）ニホンイエイツキョウカイ

記号 10100 番号 51712871

* 「ゆうちょ」以外の金融機関から振込みする場合

普通預金

（送金先）ニホンイエイツキョウカイ

店名 〇一八（ぜろいちはち）

（店名入力の最初の一文字を「セ」と入力すると、店名一覧が画面に表示されます。

あとは、該当箇所をタッチしてください。）

店番 018

口座番号 5171287

<日本イエイツ協会は、日本学術会議協力団体の登録団体です>

****The Yeats Society of Japan*****



日本イエイツ協会事務局

〒270-0198 千葉県流山市駒木 474 江戸川大学

メディアコミュニケーション学部 情報文化学科

海老澤研究室内 Tel:04-7152-9923 Fax:04-7153-5904

Email: mkunie@edogawa-u.ac.jp

URL: the-yeats-society-japan.jp